

医療・福祉の現場における LGBT の課題とは

～生活課題から多様性を考える～



LGBT という言葉をよく耳にしますが、まだまだ正しく理解されているとは言えません。また、LGBT に関する知識は学校だけでなく、医療や福祉の現場でも大切なものです。多様な性についての基礎知識を得る他に、なぜ、医療と福祉の現場で LGBT のニーズを把握することが大事なのか、一緒に考えてみませんか？

★「多様な性のあり方～LGBT も生きやすい社会へ～」は、引き続き平成 30 年 1～3 月にも開催予定です。詳細は、当財団ホームページでお知らせいたします。ぜひ、ご参加ください。

【日 時】平成 29 年 12 月 16 日（土）13：30～15：30（受付 13：00～）

【会 場】新潟県女性センター 女性団体交流室 2（新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニソンプラザ 2 階）

【講 師】遠藤まめたさん（「やっぱ愛ダホ！idaho-net」呼びかけ人代表）



★プロフィール★1987 年生まれ。トランスジェンダー当事者としての自らの体験をきっかけに、10 代後半から LGBT の子ども・若者支援に関わる。教員研修や子ども支援機関等での講演会多数。著書に『先生と親のための LGBT ガイド～もしあなたがカミングアウトされたなら』（合同出版）など。

【対 象】テーマに関心ある方ならどなたでも 30 人（申込先着順）

【参加費】無料

【一時保育】要申込。生後 6 か月以上の未就学児。保育定員 10 人（先着順）。

保育協力費：子ども 1 人 200 円。保育申込締切：12/2（土）

【申込方法】電話・ファックスにて下記までお申込みください。また、当財団ホームページの「お申込みフォーム」もご利用いただけます。

【主 催】公益財団法人 新潟県女性財団



【お申込み／お問い合わせ先】公益財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニソンプラザ 2 階／新潟県女性センター

電話：025-285-6610 ファックス：025-285-6630 ホームページ：<http://www.npwf.jp>